平成26年度 社会福祉法人 五條市社会福

障害者へのサービス(障害者総合支援法)の経営

- (1)居宅介護事業(ホームヘルプサービス)
- (2)特定相談支援事業(計画相談支援)

介護保険事業(介護保険法)の経営

- (1)高齢者へのホームヘルプサービス
- (2)介護サービス計画(ケアプラン)の作成
- (3)要介護認定調査の受託
- (4)サービス向上の取り組み

会の運営と組織基盤の確立強化

- (1)理事会、評議員会等の開催
- (2)経営改善計画の実行
- (3)住民会員制度の加入促進 安定充実した各種財源の確保と運用
- (4)苦情処理に関する規程の運用
- (5)職場内研修の推進と職員資質の向上
- ※(6)地域福祉活動計画の策定

※地域福祉活動計画の策定に向けて

昨年度から取り組んでいる地域 福祉活動計画づくりは、アンケー ト調査や住民福祉懇談会等を通じ て五條市の現状や地域の福祉課 ・地域課題の把握

動を計画としてまとめていきます。

て、五條市の現状や地域の僧他課 地域課題の光耀題の把握と整理を行いました。 その結果をもとに今年度は、地域福祉活動を推進するためには何が必要かを考え、取り組むべき活 計画の周知・実行

受託事業の運営

- (1)ひとり暮らし老人等見守り支援事業
- (2)障害者生活介護事業(デイサービス)
- (3)生活管理指導員派遣事業
- (4) 五條市立福祉センター指定管理者運営

… 平成26年度 予算…

(単位:千円)

収入の部		支出の部	
科目	予算額	科目	予算額
事業活動収入 (A)	153,848	事業活動支出 (E)	157,942
会費収入	5,207	人件費支出	125,784
寄付金収入	5,163	事業費支出	18,113
経常経費補助金収入	49,878	事務費支出	1,784
受託金収入	34,509	共同募金配分金事業費	2,730
事業収入	1,085	分担金支出	259
介護保険事業収入	51,591	助成金支出	9,127
障害福祉サービス等事業収入	5,023	負担金支出	145
受取利息配当金収入	1,268		
その他の収入	124		
施設整備等収入 (B)	0	施設整備等支出 (F)	0
その他の活動収入 (C)	3,176	その他の活動支出 (G)	8,940
前期末支払資金残高 (D)	9,858		
合 計(A+B+C+D)	166,882	合 計(E+F+G)	166,882

祉協議会 事業計画·予算 (概要)

I 本会経営理念

「みんながしあわせに暮らせるまちづくりを みんなですすめます」

Ⅱ 基本方針

少子高齢化の進行、生活様式の変化、地域や家族のつながりの希薄化に伴い、地域社会を取り巻く環境は大きく変容し、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、社会的孤立、経済的な困窮、虐待など住民が抱える生活課題は複合的かつ深刻化しています。このようななか、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を使命とする社会福祉協議会には、地域住民一人ひとりの生活課題を早期に発見し、深刻化させないための重層的な支援や支え合いの仕組みづくりが求められています。

本会としては、「みんながしあわせに暮らせるまちづくりをみんなですすめます」の経営理念のもと、住民相互の助け合いである「地域の福祉力」を高め、各種の事業活動をとおして地域・家庭・個人が抱える課題の解決を図っていきます。

特に今年度は、住民と協働して取り組む地域福祉推進のための行動計画である"地域福祉活動計画" 完成の年であり、策定を通じて浮き彫りになった地域福祉課題の解決に向け、個別支援や社会資源 の開発を意識しながら、地域住民の支え合いと制度・施策の横断化を構築し活動を展開していきます。

介護保険法や障害者総合支援法による福祉サービスについては、住民の「地域で安心して暮らし続けたい」という思いを支える包括的ケアシステムの視点に立った総合的な支援展開が求められています。

多様なサービス供給主体があるなかで、地域福祉の推進主体である社会福祉協議会としての役割 を再認識し、効果的・効率的な経営をめざします。

Ⅲ 事業実施計画

社会福祉活動の振興

- (1)広報啓発活動
- (2)地区社会福祉協議会の基盤強化と活動支援
- (3)各種調査活動、福祉課題の把握
- (4)ボランティアの発掘、育成、助長
- (5)福祉教育の振興
- (6)小地域ネットワーク事業の推進
- (7)日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)の推進
- (8)在宅福祉サービスの充実強化
- (9)生活福祉資金貸付償還事業
- (10)社会福祉関係団体への協力援助
- (11)共同募金事業
- (12)各種団体等の運営
- (13)奈良県社会福祉協議会への運営協力と連携協働
- (14)その他必要と認める事業

生活課題を深刻化させないためには、「早期発見」や「みんなで支える多様存支援」が必要だね。 そこで、社協はさまざま存福祉 事業や「地域福祉活動計画策定」 を通してそれを考えていくよ。



ワンポイント解説!